

校歌制作（作詞・作曲者の選定）について

地域に縁のある方、大崎市に縁のある方等に作詞・作曲をしていただきたいと考えている。紹介いただける方等がいる場合、統合準備委員会でお話しいただき候補としたい。（専門家に依頼する場合、謝礼有り）

1 専門家に依頼する場合

【候補者】

- ①イガグリ千葉 氏（おおさき宝大使、大崎市応援歌「My Dear 大崎」を作詞）
大場委員より推薦
- ②大場 陽子 氏（鳴子温泉地域在住、岩出山小学校校歌を作曲、岩手大学准教授）
過去の校歌制作実績を調査した結果

《参考情報》

作詞家、作曲家等は、大抵の場合、自身のパートナーとなる方（本人が作詞家の場合は作曲家、本人が作曲家の場合は作詞家）が数名おり、制作活動をスムーズに行い、一体的な歌詞・メロディを生み出すため、パートナーの選定は依頼を受けていただいた方にお任せするのが通例のようです。

2 公募する場合

- ケース 1 作詞・作曲を合わせて公募（両方できる方、または、パートナーのいる方に限定される。）
- ケース 2 作詞または作曲のいずれかを公募し、選定されたものに歌詞または曲をつける。（制作過程が 2 段階となり、時間を要する。）

※公募による校歌制作は、校章や校歌フレーズと異なり、専門的な知識・技術が必要となることから応募数の予測がつかないことが懸念される。また、制作期間も長期必要となることから、募集期間を 3～5 か月とり、応募がなかった場合や応募作品の中にふさわしい作品がなかった場合、校歌の制作自体が危ぶまれる。